

品  
名

犬用非ステロイド系消炎鎮痛剤

**メタカム<sup>®</sup>錠 1.0mg / メタカム<sup>®</sup>錠 2.5mg**

87 9139

摘

要

■ 有効成分・分量

メタカム錠 1.0mg 1錠中、メロキシカムを1.0mg含有する。

メタカム錠 2.5mg 1錠中、メロキシカムを2.5mg含有する。

■ 効能・効果

犬：運動器疾患に伴う炎症及び疼痛の緩和

■ 用法・用量

1日1回、1日目は体重1kg当たりメロキシカムとして0.2mgを基準量として、2日目以降は同0.1mgを基準量として経口的に投与する。下記の表を参考にして維持用量を投与し、1日目の投与量は維持用量の2倍量とする。正確な投与量を希望する場合は、メタカム経口懸濁液の使用を推奨する。また、体重4kg未満の犬に対しては、メタカム経口懸濁液の使用を推奨する。

体重 (kg)	1日目の錠数			維持用量の錠数		
	1.0mg	2.5mg	mg/kg	1.0mg	2.5mg	mg/kg
4.0以上 - 7.0 未満	1		0.25 - 0.14	1/2		0.13 - 0.07
7.0以上 - 10.0 未満	2		0.29 - 0.20	1		0.14 - 0.10
10.0以上 - 15.0 未満	3		0.30 - 0.20	1 1/2		0.15 - 0.10
15.0以上 - 20.0 未満	4		0.27 - 0.20	2		0.13 - 0.10
20.0以上 - 25.0 未満		2	0.25 - 0.20		1	0.13 - 0.11
25.0以上 - 35.0 未満		3	0.30 - 0.21		1 1/2	0.15 - 0.10
35.0以上 - 50.0 未満		4	0.29 - 0.20		2	0.14 - 0.10
50.0以上 - 60.0 未満		5	0.25 - 0.21		2 1/2	0.13 - 0.10

■ 使用上の注意

〔一般的注意〕

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- (2) 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (3) 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。

〔使用者に対する注意〕

- (1) 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

[犬に対する注意]

1. 制限事項

- (1) 本剤は6週齢未満の幼若犬には極力投与を避けること。また、高齢で衰弱した犬には慎重に投与すること。
- (2) 妊娠或いは授乳中の犬に対する安全性は確認されていないため、投与しないこと。
- (3) 本剤は、消化管に刺激性もしくは出血性の疾患が認められる犬、肝臓、心臓或いは腎臓の機能障害並びに出血性疾患が認められる犬、及び本剤に対し過敏症の犬には投与しないこと。
- (4) 本剤は腎臓に悪影響を及ぼす場合があるので、脱水症状、貧血或いは低血圧症の犬には投与しないこと。
- (5) 本剤を反復投与する場合は42日間を限度とすること。

2. 副作用

- (1) 本剤の投与により食欲低下、嘔吐、下痢、潜血便及び元気消失が時に見られることがある。消化管への副作用はほとんどの場合、一過性で投与を中止すれば消失するが、まれに重篤化することがある。これらの症状が続く場合は速やかに投薬を中止すること。

3. 相互作用

- (1) 利尿剤、抗凝固剤、アミノグリコシド系抗生物質及び高いタンパク結合率を有する物質との併用は毒性作用がみられることがある。ステロイド系及び非ステロイド系抗炎症剤、アミノグリコシド系抗生物質或いは抗凝固剤と併用しないこと。抗炎症剤を前投与している場合、副作用の発現或いは増強が生じることがあるので、前投与した薬剤の特性に基づき本剤の投与前に最低24時間は間隔を空けること。

4. 適用上の注意

- (1) 本剤を誤って過量投与した場合には、適切な処置を施すこと。
- (2) 1日目の投薬については獣医師が行うことがのぞましい。

[保管上の注意]

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。

■ 貯法

- メタカム錠 1.0mg：気密容器、遮光保存、室温保存。  
メタカム錠 2.5mg：気密容器、遮光保存、25℃以下で保存。

■ 使用期間

2年間（最終有効年月はラベル・組箱に記載）

■ 包装

100錠（10錠ブリスター×1枚）

®：登録商標

摘

要

包装等

① 100錠（ボトル）